

2015 年度前期
「授業改善のための学生アンケート」 結果報告書

白百合女子大学

目 次

1. 2015 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要

① 目的	1
② 実施概要	1
③ 実施方法	1
④ 設定項目	2
⑤ アンケート用紙	3
⑥ 実施科目数	3

2. 2015 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 集計結果

① 学部	4
② 大学院	9

3. 2015 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 みなさんの声に応えて

① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ	14
② F D 推進委員会からのメッセージ	19

1. 2015 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要

① 目的

- 1) さまざまな角度から学生の反応・実態を知ること、個々の授業の授業内容・教授方法等を、教員自身が見直し改善するための材料を提供する。あくまで教員の自発的な取り組みを助けるものであり、いかなる形においても、教員の評価・査定の資料とするものではない。
- 2) 設備や機材、資料など、学習に適した環境を大学がどの程度提供できているかを測定し、これを改善していくための材料を得る。
- 3) 学生が学びたい内容を適切なレベルできちんと教授できているかを知り、大学全体、あるいは学科や学年ごとのカリキュラム内容を、必要に応じて改善していくための材料を得る。
- 4) 科目に対する学生の意欲や、授業時間外での学習の実態を把握することで、カリキュラムが想定している努力を学生が傾けているかを測定し、必要に応じて改善の方法を探るための材料を得る。
- 5) 学生に対して、自らの学習のあり方を見直し、大学での学習をより実りあるものとするための材料を提供する。

② 実施概要

実 施 期 間：2015 年 7 月 17 日（金）～8 月 8 日（土）

実 施 対 象：原則としてすべての前期科目

※ただし、履修人数が 5 名以下の授業や、授業形態から考えて調査実施が困難な授業などについては、担当教員の申出により、調査対象科目から除外する。

調 査 方 式：無記名式マークシート、自由記述欄あり（p.3 参照）

※学部・大学院統一フォーム

調査所要時間：約 15 分

③ 実施方法

- 1) 授業開始前に、授業担当教員は教務課でアンケート用紙の入った封筒を受け取る。
- 2) 授業終了の 15 分前を目安に、履修学生にアンケート用紙を配布する。
- 3) 任意で設定できる質問項目欄を使用する場合、あらかじめ用意してきた「学生に答えてほしい質問内容」を、口頭あるいは板書で学生に周知する。
- 4) 授業担当教員は、学生に対し実施目的をよく読み、回答を行うように指示する。
- 5) 学生がアンケートを記入している間は、授業担当教員は机間巡視等、必要以上に教室内を移動することで学生の記入の妨げにならないよう注意する。

- 6) 授業担当教員は、受講人数に応じた数の回収担当学生を指名し、終了時刻と同時にアンケート用紙を回収させ、所定の袋に入れ封をするよう指示をする。
- 7) 授業終了後、授業担当教員または回収担当学生は教務課にアンケート用紙を回収した厳封済みの袋を提出する。

④ 設問項目

- Q1 この授業にどの程度出席しましたか。
- Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。
- Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。
- Q4 この授業の内容を十分に習得できたか。
- Q5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。
- Q5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)
- Q6 教員の話は聞き取りやすかったですか。
- Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったか。
- Q9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。
- Q10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたか。
- Q11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたか。
- Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
- Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。
- Q14 この授業の進度は適切でしたか。
- Q15 この授業の難易度は適切でしたか。
- Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。
- Q17 教室の設備は適切でしたか。
- Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。
- Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。
- Q20 この授業について、良かった点、改善してほしい点などを自由に記述してください。
- Q21 この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどを、自由に記述してください。
- Q22 (教員より指示があった場合のみ記述してください)
- Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。

Q23② (Q23①で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述してください。

[illegible]

		満足する	どちらか に若干は 高い	どちらか に若干は 低い	どちらか に若干は 高い	どちらか に若干は 低い	満足する
Q14	この授業の進度は適切でしたか。	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
Q15	この授業の難易度は適切でしたか。	内容が理解する のに十分な 説明がなされ ていました	内容が理解する のに十分な 説明がなされ ていました	内容が理解する のに十分な 説明がなされ ていました	内容が理解する のに十分な 説明がなされ ていました	内容が理解する のに十分な 説明がなされ ていました	内容が理解する のに十分な 説明がなされ ていました
Q16	〈大学院科目対象者〉この授業の履修人数は適切でしたか。	多すぎる	どちらか に若干は 多い	どちらか に若干は 少ない	どちらか に若干は 多い	どちらか に若干は 少ない	少な すぎる
Q17	教室の設備は適切でしたか。	機材がそろ う整う	どちらか に若干は 多い	どちらか に若干は 少ない	どちらか に若干は 多い	どちらか に若干は 少ない	そろ わない
Q18	必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
Q19	最後にこの科目の能力が養われます。この授業を履修したことに満足していますか。	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
Q20	この授業について、良かった点、改善してほしい点などを、自由に記述してください。						
Q21	この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどを、自由に記述してください。						
Q22	(図表より指示があった場合のみ記述してください)						
Q23	満足 5/5/5						
Q23①	この授業を履修するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。						
Q23②	(Q23①で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述してください。						

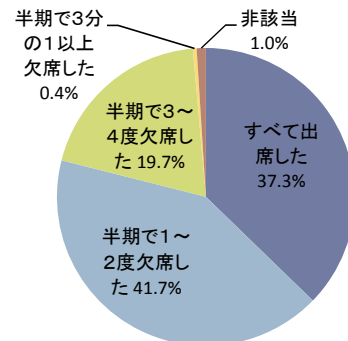
405 科目 (学部 398 科目、大学院 7 科目)

2. 2015年度前期「授業改善のための学生アンケート」の集計結果

① 学部

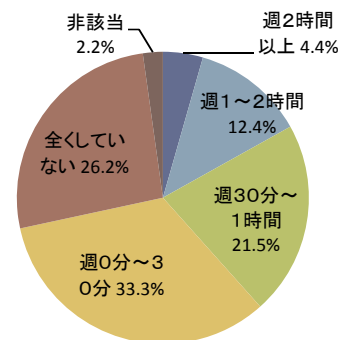
Q 1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	3,703	37.3%
2	半期で1～2度欠席した	4,139	41.7%
3	半期で3～4度欠席した	1,953	19.7%
4	半期で3分の1以上欠席した	43	0.4%
5	非該当	98	1.0%
	合計	9,936	



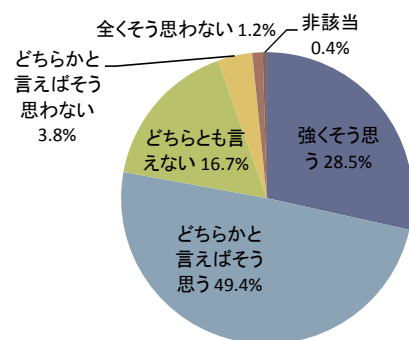
Q 2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	441	4.4%
2	週1～2時間	1,237	12.4%
3	週30分～1時間	2,134	21.5%
4	週0分～30分	3,306	33.3%
5	全くしていない	2,600	26.2%
6	非該当	218	2.2%
	合計	9,936	



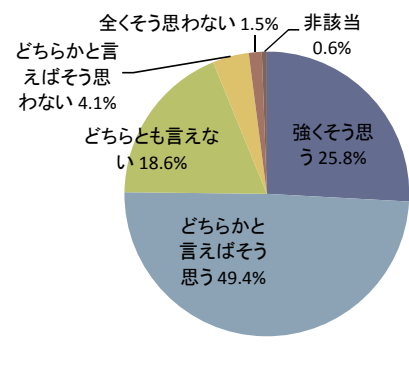
Q 3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	2,830	28.5%
2	どちらかと言えば思う	4,906	49.4%
3	どちらとも言えない	1,659	16.7%
4	どちらかと言えば思わない	380	3.8%
5	全くそう思わない	117	1.2%
6	非該当	44	0.4%
	合計	9,936	



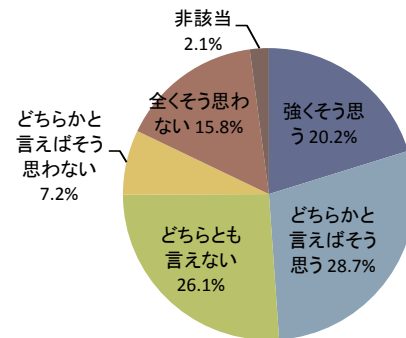
Q 4 この授業の内容を十分に習得できたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	2,568	25.8%
2	どちらかと言えば思う	4,904	49.4%
3	どちらとも言えない	1,853	18.6%
4	どちらかと言えば思わない	407	4.1%
5	全くそう思わない	148	1.5%
6	非該当	56	0.6%
	合計	9,936	



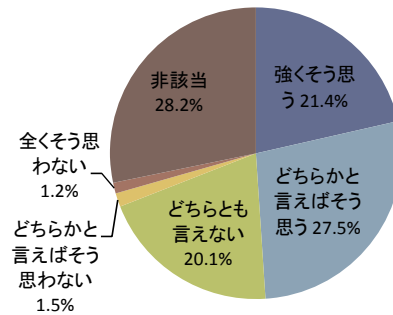
Q 5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	2,008	20.2%
2	どちらかと言えば思う	2,848	28.7%
3	どちらとも言えない	2,589	26.1%
4	どちらかと言えば思わない	712	7.2%
5	全く思わない	1,571	15.8%
6	非該当	208	2.1%
	合計	9,936	



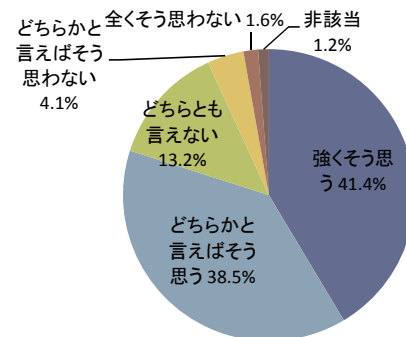
Q 5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)

No.	Category	度数	%
1	強く思う	2,131	21.4%
2	どちらかと言えば思う	2,733	27.5%
3	どちらとも言えない	1,998	20.1%
4	どちらかと言えば思わない	148	1.5%
5	全く思わない	121	1.2%
6	非該当	2,805	28.2%
	合計	9,936	



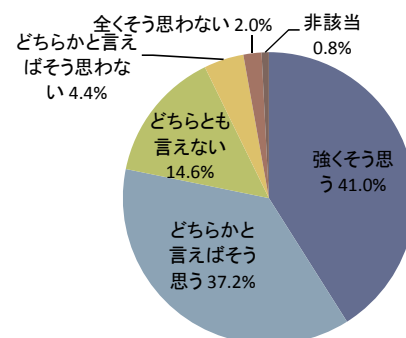
Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	4,116	41.4%
2	どちらかと言えば思う	3,825	38.5%
3	どちらとも言えない	1,313	13.2%
4	どちらかと言えば思わない	404	4.1%
5	全く思わない	161	1.6%
6	非該当	117	1.2%
	合計	9,936	



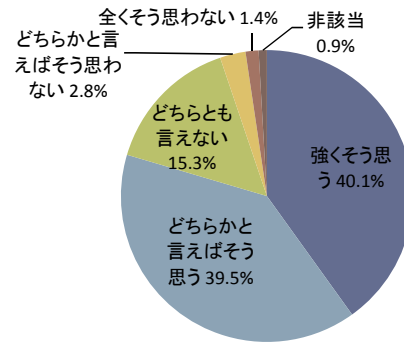
Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	4,076	41.0%
2	どちらかと言えば思う	3,694	37.2%
3	どちらとも言えない	1,449	14.6%
4	どちらかと言えば思わない	438	4.4%
5	全く思わない	200	2.0%
6	非該当	79	0.8%
	合計	9,936	



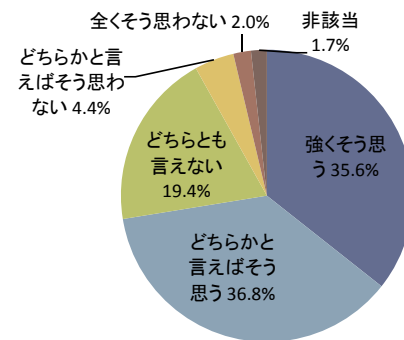
Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	3,983	40.1%
2	どちらかと言えば思う	3,922	39.5%
3	どちらとも言えない	1,516	15.3%
4	どちらかと言えば思わない	282	2.8%
5	全く思わない	144	1.4%
6	非該当	89	0.9%
	合計	9,936	



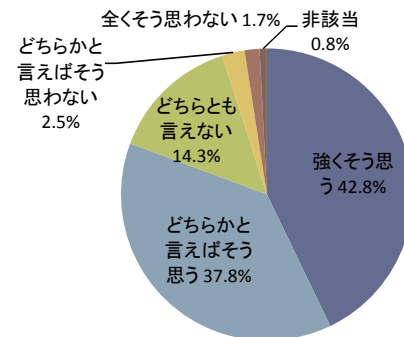
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	3,542	35.6%
2	どちらかと言えば思う	3,658	36.8%
3	どちらとも言えない	1,931	19.4%
4	どちらかと言えば思わない	438	4.4%
5	全く思わない	195	2.0%
6	非該当	172	1.7%
	合計	9,936	



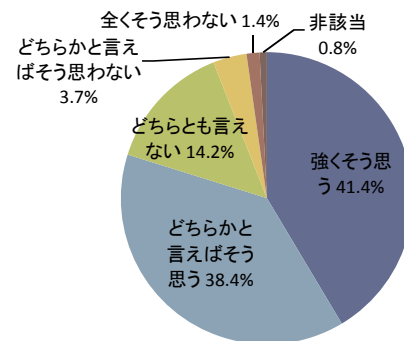
Q 10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	4,257	42.8%
2	どちらかと言えば思う	3,759	37.8%
3	どちらとも言えない	1,425	14.3%
4	どちらかと言えば思わない	253	2.5%
5	全く思わない	164	1.7%
6	非該当	78	0.8%
	合計	9,936	



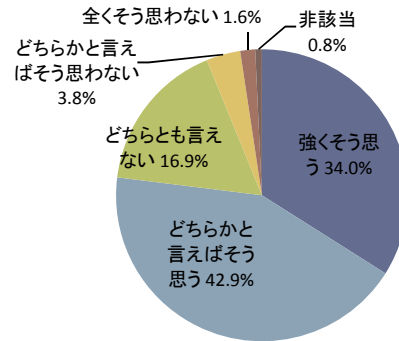
Q 11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	4,115	41.4%
2	どちらかと言えば思う	3,819	38.4%
3	どちらとも言えない	1,408	14.2%
4	どちらかと言えば思わない	372	3.7%
5	全く思わない	142	1.4%
6	非該当	80	0.8%
	合計	9,936	



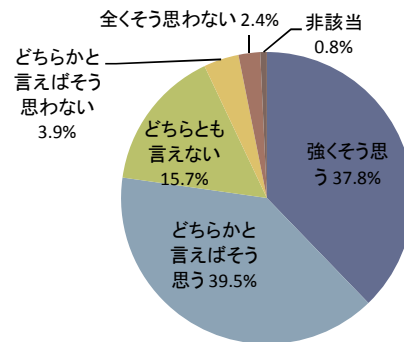
Q 1 2 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	3,378	34.0%
2	どちらかと言えば思う	4,267	42.9%
3	どちらとも言えない	1,677	16.9%
4	どちらかと言えば思わない	375	3.8%
5	全くそう思わない	163	1.6%
6	非該当	76	0.8%
	合計	9,936	



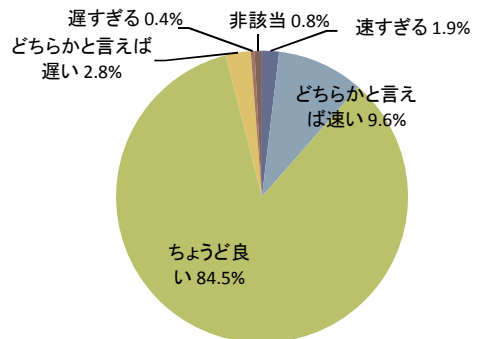
Q 1 3 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	3,753	37.8%
2	どちらかと言えば思う	3,920	39.5%
3	どちらとも言えない	1,561	15.7%
4	どちらかと言えば思わない	389	3.9%
5	全くそう思わない	237	2.4%
6	非該当	76	0.8%
	合計	9,936	



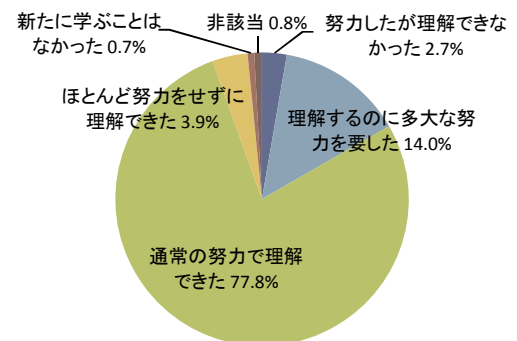
Q 1 4 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	185	1.9%
2	どちらかと言えば速い	955	9.6%
3	ちょうど良い	8,397	84.5%
4	どちらかと言えば遅い	275	2.8%
5	遅すぎる	43	0.4%
6	非該当	81	0.8%
	合計	9,936	



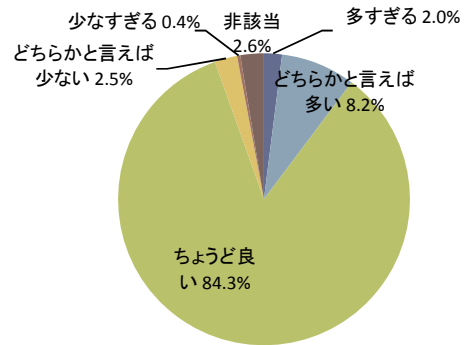
Q 1 5 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	努力したが理解できなかった	269	2.7%
2	理解するのに多大な努力を要した	1,388	14.0%
3	通常の努力で理解できた	7,735	77.8%
4	ほとんど努力をせずに理解できた	387	3.9%
5	新たに学ぶことはなかった	73	0.7%
6	非該当	84	0.8%
	合計	9,936	



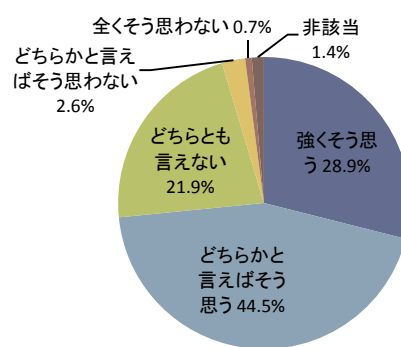
Q 1 6 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	198	2.0%
2	どちらかと言えば多い	819	8.2%
3	ちょうど良い	8,376	84.3%
4	どちらかと言えば少ない	249	2.5%
5	少なすぎる	35	0.4%
6	非該当	259	2.6%
	合計	9,936	



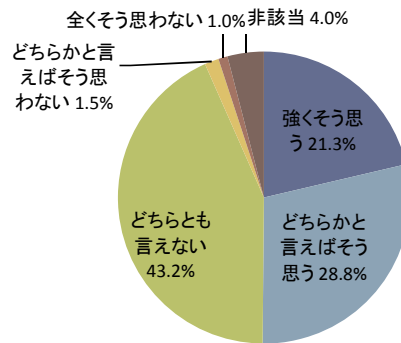
Q 1 7 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,876	28.9%
2	どちらかと言えばそう思う	4,421	44.5%
3	どちらとも言えない	2,178	21.9%
4	どちらかと言えばそう思わない	255	2.6%
5	全くそう思わない	71	0.7%
6	非該当	135	1.4%
	合計	9,936	



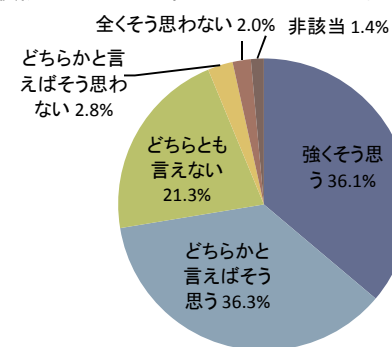
Q 1 8 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,120	21.3%
2	どちらかと言えばそう思う	2,864	28.8%
3	どちらとも言えない	4,294	43.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	154	1.5%
5	全くそう思わない	104	1.0%
6	非該当	400	4.0%
	合計	9,936	



Q 1 9 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

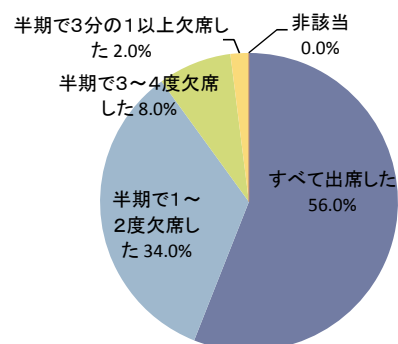
No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,591	36.1%
2	どちらかと言えばそう思う	3,603	36.3%
3	どちらとも言えない	2,120	21.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	278	2.8%
5	全くそう思わない	200	2.0%
6	非該当	144	1.4%
	合計	9,936	



② 大学院

Q 1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	28	56.0%
2	半期で1～2度欠席した	17	34.0%
3	半期で3～4度欠席した	4	8.0%
4	半期で3分の1以上欠席した	1	2.0%
5	非該当	0	0.0%
	合計	50	



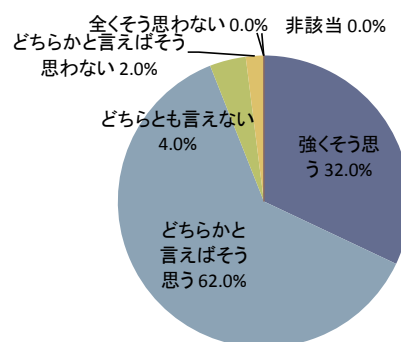
Q 2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	0	
2	週1～2時間	0	
3	週30分～1時間	0	
4	週0分～30分	0	
5	全くしていない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

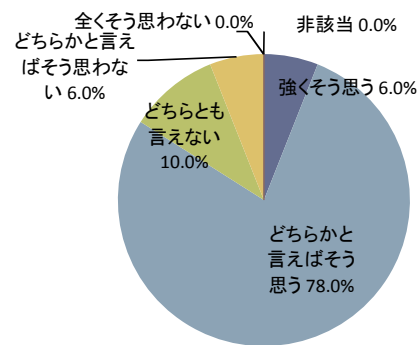
Q 3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	16	32.0%
2	どちらかと言えばそう思う	31	62.0%
3	どちらとも言えない	2	4.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	2.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	50	



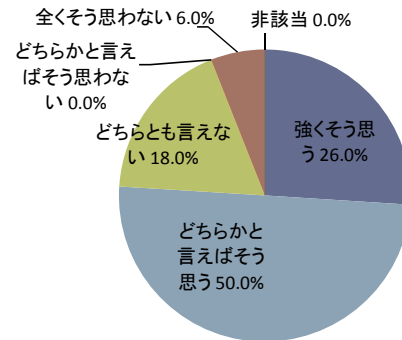
Q 4 この授業の内容を十分に習得できたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3	6.0%
2	どちらかと言えばそう思う	39	78.0%
3	どちらとも言えない	5	10.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	3	6.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	50	



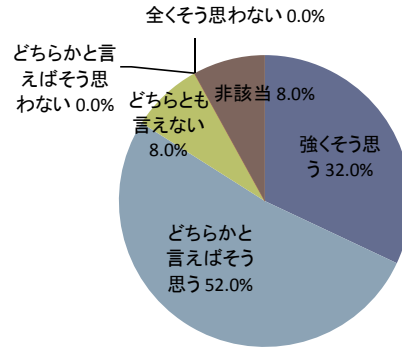
Q 5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	13	26.0%
2	どちらかと言えば思う	25	50.0%
3	どちらとも言えない	9	18.0%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	3	6.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	50	



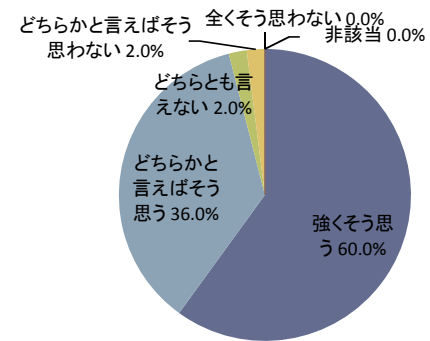
Q 5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)

No.	Category	度数	%
1	強く思う	16	32.0%
2	どちらかと言えば思う	26	52.0%
3	どちらとも言えない	4	8.0%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	4	8.0%
	合計	50	



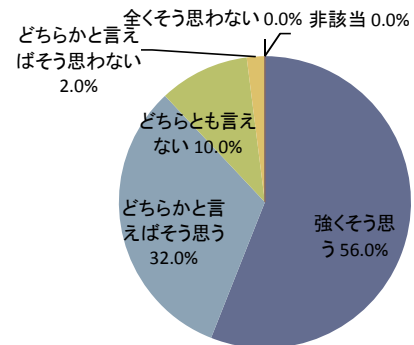
Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	30	60.0%
2	どちらかと言えば思う	18	36.0%
3	どちらとも言えない	1	2.0%
4	どちらかと言えば思わない	1	2.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	50	



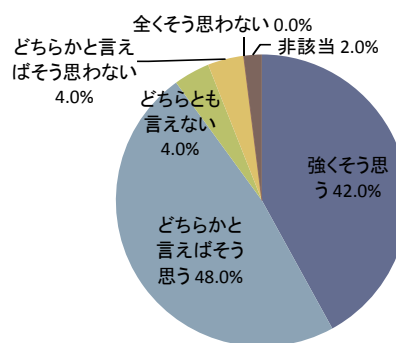
Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	28	56.0%
2	どちらかと言えば思う	16	32.0%
3	どちらとも言えない	5	10.0%
4	どちらかと言えば思わない	1	2.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	50	



Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	21	42.0%
2	どちらかと言えば思う	24	48.0%
3	どちらとも言えない	2	4.0%
4	どちらかと言えば思わない	2	4.0%
5	全く思わない	0	0.0%
6	非該当	1	2.0%
	合計	50	



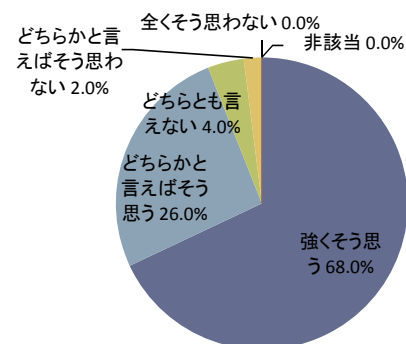
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	0	
2	どちらかと言えば思う	0	
3	どちらとも言えない	0	
4	どちらかと言えば思わない	0	
5	全く思わない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

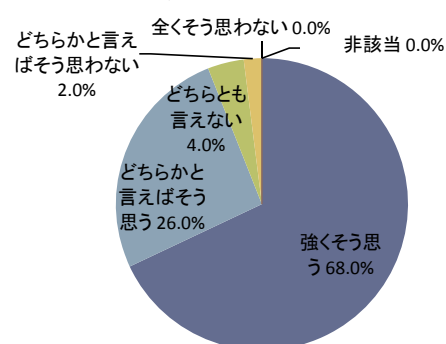
Q 10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	34	68.0%
2	どちらかと言えば思う	13	26.0%
3	どちらとも言えない	2	4.0%
4	どちらかと言えば思わない	1	2.0%
5	全く思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	50	



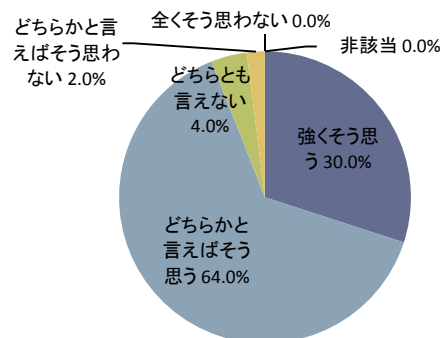
Q 11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	34	68.0%
2	どちらかと言えば思う	13	26.0%
3	どちらとも言えない	2	4.0%
4	どちらかと言えば思わない	1	2.0%
5	全く思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	50	



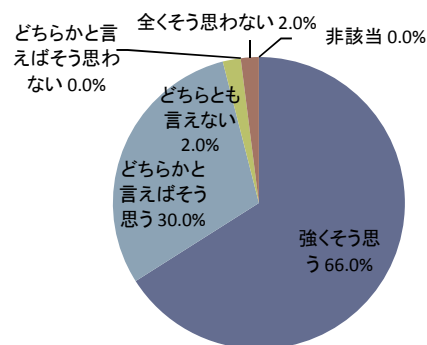
Q 1 2 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	15	30.0%
2	どちらかと言えば思う	32	64.0%
3	どちらとも言えない	2	4.0%
4	どちらかと言えば思わない	1	2.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	50	



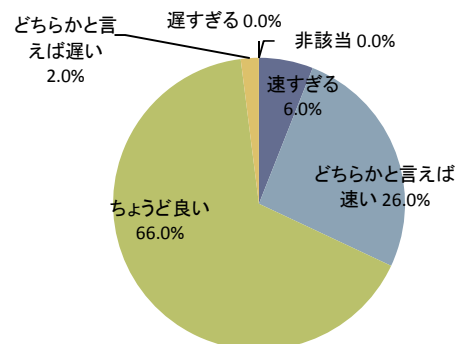
Q 1 3 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	33	66.0%
2	どちらかと言えば思う	15	30.0%
3	どちらとも言えない	1	2.0%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	1	2.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	50	



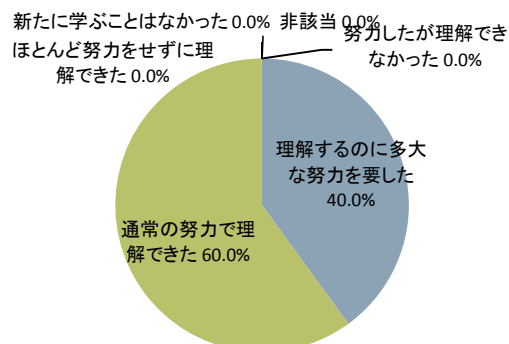
Q 1 4 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	3	6.0%
2	どちらかと言えば速い	13	26.0%
3	ちょうど良い	33	66.0%
4	どちらかと言えば遅い	1	2.0%
5	遅すぎる	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	50	



Q 1 5 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	努力したが理解できなかった	0	0.0%
2	理解するのに多大な努力を要した	20	40.0%
3	通常の努力で理解できた	30	60.0%
4	ほとんど努力をせずに理解できた	0	0.0%
5	新たに学ぶことはなかった	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	50	



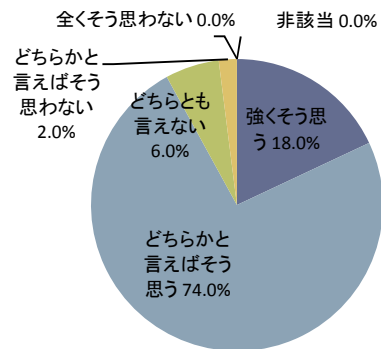
Q 1 6 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	0	
2	どちらかと言えば多い	0	
3	ちょうど良い	0	
4	どちらかと言えば少ない	0	
5	少なすぎる	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

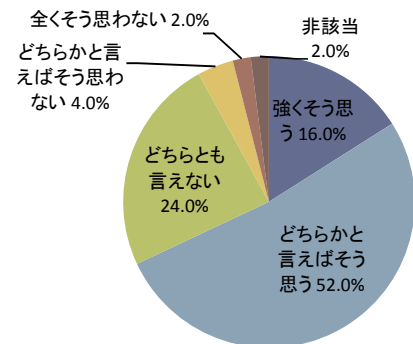
Q 1 7 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	9	18.0%
2	どちらかと言えばそう思う	37	74.0%
3	どちらとも言えない	3	6.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	2.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	50	



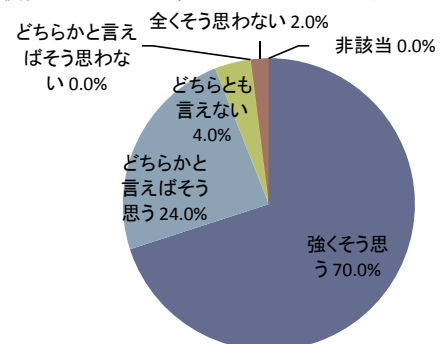
Q 1 8 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	8	16.0%
2	どちらかと言えばそう思う	26	52.0%
3	どちらとも言えない	12	24.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	2	4.0%
5	全くそう思わない	1	2.0%
6	非該当	1	2.0%
	合計	50	



Q 1 9 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	35	70.0%
2	どちらかと言えばそう思う	12	24.0%
3	どちらとも言えない	2	4.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	1	2.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	50	



3. 2015 年度前期「授業改善のための学生アンケート」みなさんの声に応じて

学生の皆さんが回答してくれたアンケート結果は、個人が特定されないように集計された後、自由記述も含めて、担当教員へすべて確実に届いています。この章では、アンケートを通じて届けられたみなさんの声に応じて、授業毎に担当教員からのメッセージをお戻しします。

① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ

情報メディアの活用	今井 福司	2015/月 1/前期
■Q22 自由記述欄「この授業を来年度以降受ける予定の後輩へ一言アドバイス」について 個別の事例を上げることは致しませんが、PC についての事前知識が必要であること、自分から何かをすることが多い、指名されての発言回数が割と多いので覚悟しておくとのコメントがありましたので、来年度以降受講される学生さんは参考にして頂ければ幸いです。		

学校経営と学校図書館	今井 福司	2015/月 2/前期
■Q22 自由記述欄「あなたが授業でもっと取り扱って欲しいと思ったこと」について 数多くのご意見ありがとうございました。以下、代表的なコメントに対する返答を下記に記載いたします。 ・読書のアニメーションの実践は確かに講師のデモンストレーションだけで終わってしまいましたが、来年度以降は学生さんに担当させることも含めて検討したいと思います。 ・最近の学校図書館でどのような本が生徒に多く読まれているかについては、全国学校図書館協議会が発行しています ・就職するために必要なこととしては、まずとにかく教員になることだと思います。司書教諭だけで募集がかかることはそれほど多くありませんし、そのような場合でも実際には高倍率だと聞いていますので、まずは教員採用試験を突破することを最優先してください。 ・面白い取り組みや変わった学校図書館の取り組みを取り上げて欲しかったとのことですが、これは授業で扱わなければいけない範囲が広いこともあってなかなか実現できていません。ただし、ご要望としては大変よく分かりますので、修正に努めて参りたいと思います。 ・司書教諭の実態について知りたいとのことですが、これは学校や地域によってケースバイケースと言うことが多く、決して一般論で申し上げる話ではないと考えてい		

ます。ただ、パターンを数多く提示して、こういうものもある、こういったものも考えられると可能性を提示することは可能かと思いますので、次年度以降、検討して参りたいと思います。

生涯学習概論	今井 福司	2015/月 4/前期
■Q22 自由記述欄「あなたが授業でもっと知りたかったこと」について 数多くのご指摘ありがとうございます。以下、代表的なコメントに対する返答を下記に記載いたします。 ・1 種類しかアイスブレイクが考えられなかったもので、ほかのものもやってみたいと思いました。 →Web 上には数多くの題材が公開されていますし、また書籍でも参考になるものがあるので、是非自分自身で試行錯誤してみてください。必ず役立つと思います。 ・MALUI 連携について、もう少し具体例を知りたかった。 →これは講師がちゃんと準備できなかったことと授業中の時間配分を失敗したのが原因です。京都府立資料館をはじめとして数多くの事例がありますので、ぜひ自分でも調べてみてください。 ・グループワークをもう 1 回やりたかった。 →教室の制約もあったのですが、私ももっと取り入れて良かったのではと考えています。これからも試行錯誤して参りたいと思います。 ・他に図書館ではどんなサービスをしているのか →図書館のサービス事例紹介は、色々図書館の業界紙をみると良いでしょう。『図書館雑誌』、『LRG』などはオススメです。 ・時間が許せばもっとゆっくり理解を深めたかったです。今まで学んできた内容とは別方向な気もしたので、半期でやるには少し難しいように思いました。 →ご指摘の通りでして、大学によっては通年科目の 4 単位にしているところもあるようです。ただ、難しいと感じた原因としては、講師の教材提示や指導が上手くいかなかったことも考えられますので、次回担当する際にはそのあたりを十分に注意して参りたいと思います。 ・生涯学習論の施設が書いてある本をもっと細かく触れてみたかったです。 →授業外で資料に触れて頂く時間というのを設けた方が良かったかもしれません。この辺は講師の余裕のなさが皆さんに見えてしまったところだと思うので、反省しております。		

図書館情報学概論	今井 福司	2015/火 5/前期
■Q20 この授業について、良かった点、改善して欲しい点について		

大変数多くのご指摘ありがとうございました。全て本当はコメント返ししたいところですが、改善に関する代表的なコメントについて下記の通り返答いたします。なお、コメントシートへの返答について良かったとコメントしてくださった方が多数いらっしゃったので、その点は講師としても大変嬉しいご指摘でした。

- ・板書はまんべんなく両側を使うよりは真ん中に集中して書かれていた方が良かったです。個人的には担当の先生の研究テーマがかなり強調されていたような気がします。

→講義の中で皆さんに自信を持って教えられるのはやはり研究テーマに絡んだことでありますので、そのあたりはどうしても強調してしまいます。ただし、皆さんにお伝えすべき内容がそれでスпойルされてしまっては意味がないので、きちんと都度確認しながら進めていきたいと思います。また板書については、教室の特性上そのようなことがあるということは担当者からはつかめないのですが、このようなご指摘を頂けて大変嬉しいです。

- ・授業で扱うサブカル知識は一般人からすれば「知っているなあ」と感じる程度が良いと思います。

→前期は導入の際に、自分の趣味からお話ししたこともたくさんあったのですが、中途半端な知識で語るのはその世界のファンに失礼と考えていたので、どうしてもマニアックな知識になってしまいました。ただ、話し方とか皆さんへの伝え方次第でこの辺はいくらでも受け取り方が変わるところだと思いますので、題材の選定を含めて、伝え方についても都度見直して参りたいと思います。

- ・板書の英語のスペルが読みづらいので、改善して欲しい。

→板書については、私の授業において勤務開始以来の課題でありますので、精進して参りたいと思います。ご迷惑をおかけしました。

- ・プリントを記入する板書の時に、どこの空欄に入れるのかわかりやすく言って欲しい。

→類似のご指摘が多くありましたので、今期からはプリントの穴埋めについては、都度指示を強調すると共に、板書は白文字に青色のアンダーライン、ホワイトボードは青文字で書くことを徹底しております。

- ・配布プリントの文字が小さく、びっしり書いてあったので、少し目を通すのに気が引けることもあった。でも、本来の内容を凝縮しての内容なので、仕方ないかと思った。

→ご指摘の通りです。この授業は教科書指定をしていないので、プリントだけ読んでもある程度の内容の広がり（本来はここまで扱う必要があるのだということ）を示したいというのが理由です。

- ・90 分の授業の中で伝えなければならないことが沢山あるのは分かるが、少し早口で聞き取れない時もあった。でも、とても楽しかった。

→早口については自分でも板書と同じくらい気をつけている箇所ですが、まだまだ改善が足りないようなので、きちんと対応して参りたいと思います。

- ・進みが早い、たまに威圧感を感じる。

→威圧感は今期初めて受けたご指摘ですので、気をつけたいと思います。おそらくは「ここは知っていて当然だろう」という箇所があったのだと思います。大学の教員としては初めて学ぶ学生さんに対して、きちんとその理解度を踏まえた上で、授業することの大切さを痛感いたします。

- ・コメントシートを書く時間を確保してくださるのは有りがたいのですが、区切りの悪いところで次回へ持ち越されるのが残念でした。

→仰るとおりです。可能な限り、1つのレジュメセットを1回の授業で終わらせられるように工夫したいと思います。

- ・もう少し体験型学習を取り入れて欲しい。自分で調べる学習など。

→授業の人数、サイズからすると難しいことではあるのですが、可能性がゼロではありませんので、何かアイデアを練っておきたいと思います。

- ・他の授業もあるので、この授業のテストのためだけに多大な時間はかけられないです。

→悩ましいところですが、なるべく時間を割けるように試験範囲のプリントなどは早めに配ることを徹底したいと思います。

情報資源組織演習（分類）	今井 福司	2015／水 3, 4, 5／前期
■<u>Q20 この授業について、良かった点、改善して欲しい点について</u> 目を見て話して欲しい、ゆっくり話して欲しい、板書の改善をしていただきたい、試験範囲は早めに終わらせて欲しいなどの様々なご意見ありがとうございます。こうしたアンケートで、改善点を挙げて頂けることは何よりですので、今後とも改善できるよう精進して参りたいと思います。 なお、演習方法については、全員が参加できて、かつ効果が上がる方法を年によって少しずつ違った方法で試しております。このアンケートだけに限らず何か改善点等ありましたら、都度ご指摘くださいませ。		

情報サービス演習Ⅰ	気谷 陽子	2015／火 4／前期
■<u>Q10 学生の質問や相談への対応について</u> 適切に対応していたとの評価をいただき大変喜んでおります。今後も履習生一人一人にお役に立てるよう努力してまいりますので、質問等を気軽にしてくださいますようお願いいたします。		

臨床心理学特講B

小田切 紀子

2015／金3／前期

集計結果を有難うございました。結果は概ね予想通りでしたが、改善すべきこととしては自由記述項目にあったように「板書の多さ」だと思いました。できるだけ多くの情報を伝えたい思いがあり、学生に負担をかけてしまったようです。配布資料を使うなどして工夫したいと思いました。

② F D 推進委員会からのメッセージ

「授業改善のための学生アンケート」をはじめ、よりよい学びについて考える様々な機会を提供していく役割を担っているのが F D 推進委員会です。F D 推進委員会からは、アンケートそのものの適切性についての設問 (Q23) で寄せられた学生のみなさんの声に応えます。また、アンケート結果からみられる全学的な傾向を踏まえて、みなさんへよりよい学びのためのメッセージをとどけます。

「Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。」に対する回答は、以下のとおりでした。

「はい」	7,842 件	78%
「いいえ」	172 件	2%
「無回答」	1,972 件	19%

「Q23② (Q23①で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述しなさい。」に対して、次のようなコメントが寄せられました。

アンケートについてのコメント 1 (案)

「Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。」で全くそう思わない私は 5 を選びました。どのような理由より、そのような項目を選び、改善してほしいかについても問うてほしいです。(1 件)

選択肢により回答する設問についてその理由を述べたいのに、そのことを述べるのにふさわしいコメント欄がないというご意見と受け止めました。このような場合には、Q20 (この授業についてのよい点、改善点を問う設問) の自由記述欄へ記入して下さい。すべての集計結果は自由記述内容も含めて授業担当教員へ戻されますが、例えば学習環境に問題がある場合には、担当教員より、FD 推進委員会、担当部署等へと問題を引き継ぎ、できる限り解決していく仕組みがあります。(もちろん、個人情報には留意し、問題と思われる事項だけを担当部署へ引き継ぐ仕組みです。)

アンケートについてのコメント 2 (案)

「Q9 板書（パワーポイント等も含む）はわかりやすかったですか。」とありますが、パワーポイント提示や板書をしない授業にはあてはまりません。(2 件)

全学統一フォームでアンケートを実施していることから、実際の授業形態と質問項目がそぐわないことがあるというご指摘だと受け止めています。このアンケートを開始するにあたり様々な方法を検討しましたが、同じ物差しで本学のすべての授業を振り返ることも重要であるとの見解から、全学統一フォームで実施することにしました。ただし、授業形態は授業の数だけあるといっても過言ではありません。その授業にはふさわしくない設問については未回答（マークをしない）ということも許されていますので、各授業担当教員の指示に従ってください。

アンケートについてのコメント 3 (案)

教員についての設問があるといいと思います。(2 件)

担当教員の役割はたしかに大きく、そのため「教員についての設問があるといい」というコメントが寄せられたのだと受け止めました。このアンケートは教員評価が目的ではありませんが（実施目的については P.1 を参照してください）、授業に関係することであればどのようなことでも大丈夫ですので、Q20（この授業についてのよい点、改善点を問う設問）の自由記述欄へ意見を記入して下さい。

さて、ここでみなさんと考えてみたいことがあります。よりよい授業とは、どのようなものでしょうか。授業が楽しい、ためになる、互いの意見を交わせる、視野・興味が広がる、より深く知りたくなる、毎回の授業外学習が大変だけれど力がつくのが実感できる…等、それぞれのものさしがあることでしょうか。授業にはあらかじめシラバスでその授業のねらいや達成目標、授業概要、計画、準備学習・履修上の注意、成績評価の方法について示されています。担当教員はもちろん、履修する学生のみなさんもその概要を理解して授業にのぞんでいます。このアンケートを「評価」ではなく「振り返り」として取り組むことで、その授業をともに作りあげた担当教員、履修生のみなさんにとって、次のよりよい授業・学びにつながることを期待しています。そして、このアンケートが教員と学生のみなさんをつなぐ有効なコミュニケーションツールとしても機能するよう、FD 推進委員会ではこれからもよりよい学びを支えるアンケートのあり方を探っていきたいと考えています。

アンケートについてのコメント 4 (案)

シラバスが、紙でなく、電子化したことについてー

今までは興味がない授業も、シラバスをめくって目についてとることができましたが、電子化にともない、偶然の出会いがなくなりました。本屋さんからアマゾンになったみたい
です。悲しいです。(1 件)

みなさんもお存じのとおり、シラバスは 2015 年度より冊子配布が廃止され、ポータルサイト CAMPUSSQUARE でいつでもどこでも閲覧できるようになりました。シラバスは、どの授業を履修するかを選択する時だけでなく、いわばコースガイドとして履修中の学びの助けとなるよう作成されています。しかし、履修登録期間が終わる頃、たくさんのシラバス冊子が捨て置かれていることもあり、シラバスのもう一つの役割が果たせていないことをずっと残念に思っておりました。そこで、シラバスが持ち運びには不向きな冊子体からポータルサイトへ移行することで、シラバス本来の活用方法を可能とし、学びの環境を向上させようというのがこのシステムを導入した目的でした。

一方で、シラバス冊子をばらばらとめくりながらどんな授業が開講されているのかを見る楽しみや思いがけない学修の機会（まさに「本屋さんでの偶然の出会い」、すてきな表現ですね）を奪ってしまっていたとしたらそれは大変残念なことです。学生全員に配布はしていませんが、学内にはシラバス冊子を自由に閲覧できる場所も設けていますので、教務課、研究室、図書館等でどうぞお気軽にご覧ください。また、検索が前提となるポータルサイトと比べれば、よりブラウジングに近い形でシラバスを閲覧できる Web ページも用意しましたので以下にご紹介します。ぜひ一度ご覧になってください。

[大学ホームページ > キャンパスライフ > 授業・履修 > シラバス【学部】](#)

[大学ホームページ > キャンパスライフ > 授業・履修 > シラバス【大学院】](#)

今後も FD 推進委員会ではよりよい学びのための率直かつ建設的なご意見を歓迎いたします。みなさんの声をどうぞお寄せください。